

2010→2011 年度 校内研究

# 学びの手引き

HAYASYO METHOD

早島町立早島小学校

# 教室のルール

年度初めに、学級目標のような抽象的なスローガンだけでなく、1年間を通して身につけてはならない具体的な目標を提示しましょう。

下に示したものは「あたりまえだけど、とても大切なこと（ロン・クラーク著）」の50のルールを、早島小学校の子どもたちに身につけさせたいこととして、さらに半分にしぼったものです。学年（学級）の実態に合わせて変更してもらえれば幸いです。ただし、「だまって掃除をしよう」などの生活目標とは区別してください。大人になっても必要な社会生活の基本ルールとして、年間を通してタイミングを逃さず子どもたちに確認させたいことばかりです。

## 1 大人の質問には礼儀正しく答えよう

大人の質問に答えるときには、「はい、そうです」とか「いいえ、ちがいます」というように、いつもきちんとした言葉づかいで答えよう。ただうなずくだけではだめだし、乱暴な答え方もいけない。

## 2 相手の目を見て話そう

だれかが話しているときには、その人の目を見よう。  
だれかが意見を発表しているときには、その人のほうに顔を向けよう。

## 3 だれかがすばらしいことをしたら拍手をしよう

だれかがすばらしいことをしたときには、拍手をして祝福をしよう。  
拍手は3秒間は続ける。大きな音ができるように、手のひら全体が合わさるようにたたこう。

## 4 人の意見や考え方を尊重しよう

話し合いをするときには、それぞれが自由に意見を言い合えるようにしよう。  
何があっても、人の意見を笑ったり、からかったりしてはいけない。

## 5 勝っても自慢しない、負けても怒ったりしない

もしきみが何かで勝ったり、うまくやったりしても、自慢しないこと。  
もし負けても、怒った態度をとらないこと。「わざと負けてやったんだよ」などと言うのは、弱さのあらわれだ。

## 6 口をふさいでせきやくしゃみをしよう

せき、くしゃみ、げっぷをするときは、人のいないほうを向き、手で口をしっかりとふさごう。

## 7 何かをもらったら、3秒以内にお礼を言おう

人から何かをもらったときには、必ず「ありがとう」と言おう。感謝の気持ちを見せないことに、言い訳は許されない。

## 8 もらったプレゼントに文句を言わない

だれかに何かをプレゼントされたときは、よくない感想や不満を口にしてはいけない。プレゼントをくれた人に対して失礼だからだ。

## 9 授業中は、人が読んでいるところを目で追う

先生やクラスのだれかが教科書を読んでいるときは、読んでいるところを目で追って、急に先生にあてられても、すぐに続きが読めるようにしておこう。

**10 質問には完全な文章で答えよう**

「日本の首都はどこですか？」と聞かれたら、  
「東京」ではなく  
「日本の首都は東京です」と答えよう。

**11 自分からごほうびをほしがってはいけない**

よいことをしたからといって、「ごほうびもらえる？」と自分から聞くのは礼儀に反する。きみたちは自分を高めたいからよいことをしたり最善を尽くしたりするべきであって、ごほうびを期待してそういうことをするべきではない。

**12 宿題は全員が毎日必ず提出しよう。例外は許さない。**

宿題を必ず提出するのは、期限どおりに課題を出すことを学ぶためだ。

**13 授業の準備をすばやくしよう**

授業が終わったら、次の授業の準備をすばやくすませておこう。できれば10秒でしまうべきものをしまい、必要なものを出そう。

**14 あらゆる努力をして、できるかぎり整理整頓をしよう**

必要なものはすぐ取り出せるように、机の中はきれいに整理しておこう。

**15 宿題に文句を言わない**

先生が宿題を出したとき、不満そうな声をあげたり、文句を言ってはいけない。そういうことをすると宿題の量が倍になる。

**16 代わりの先生が来たときも礼儀正しくしよう**

担任の先生じゃないからといって、ふざけたり、さわいだりしてはいけない。

**17 授業中は許可なく席を立たない**

席を立てていいのは、手を上げて指名されたとき、質問に答えるとき、先生の指示があったときだけだ。それ以外はおしゃべりもいけない。

**18 先生にあいさつしよう**

学校中の先生の名前をおぼえて、見かけたときにはきちんとあいさつをしよう。  
「〇〇先生、おはようございます。」

**19 だれであれ、仲間はずれにしない**

きまった友達とだけ仲良くするのではなく、クラスのみんたと友達になろう。  
たとえあまり好きになれなくても、どんな人にもやさしさと敬意をもって接し、仲間に入れよう。

**20 しかられている人のほうを見ない**

だれかが先生にしかられているときは、じろじろ見ないで、下を向くか、前を向いていよう。

**21 授業がよくわからないときは質問しよう**

授業の内容がよくわからないときは、思いきって先生にたずねてみよう。

**22 食べ物を欲ばって取らない**

食べ物をすすめられたとき、自分だけたくさん取ってはいけない。

**23 もしいじめられたら先生に知らせよう**

いじめやいやがらせにあってたら、だまっていなくて先生に知らせよう。

**24 まちがいを受けいれよう**

人間はまちがいをおかすものだ。まちがいから学んで、先に進もう。

**25 現在を楽しもう**

今日という日は一度しかない。だから、むだにしないこと。

# 生活がんばりカード

家庭での学習や読書のような活動を担任が把握し、学校での授業や生活のようすを保護者に知らせるために役立ちます。項目は子どもの実態や時期に合わせて自由に変更してください。

朝の会や帰りの会で、しっかり自分自身を振り返る時間をとってください。また、がんばった子にはごほうび券などやる気につながる意識づけをお願いします。

## 生活がんばりカード 早島小学校5年生

名前

とてもよくできた◎ できた○ あまりできなかった△ できなかった×

今週のめあて		月	火	水	木	金
学校生活	自分からあいさつやお礼					
	忘れ物ゼロ					
	発表をする					
	友達と遊び、協力、学び合い					
	そうじや係の仕事					
	よいところみつけ					
家庭生活	早寝・早起き・朝ごはん					
	時間を守ってTV・ゲーム・PC					
	読書や新聞 30分以上◎ 30分まで○					
	自主学習 (iブリ、予習など)					
	学習時間 (宿題+自主学習)	分	分	分	分	分
先生の印						

一週間をふりかえって

おうちの方から

# 学習のきまり

「早島っ子の学習」「家庭学習の手引き」「学習用具のきまり」を参考に、各学年共通理解のもと、足並みのそろった声かけや指導をお願いします。



早島小学校  
3.4年生

## 学習用具のきまり

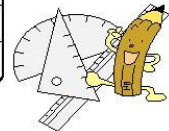
- 学校は勉強するところです。
- 授業で困らないように、学習用具をきちんとそろえましょう。
- 学習に必要なものだけを持ってきます。(必要のないものは持ってきません)

### 筆箱の中

- ★そろったら、口に丸じるしを入れましょう。
- ★筆箱の中に入れるものは次のものです。

HB)	5本
	1本
	1本
	1個
	鉛筆1本ずつ

3年の間は、Bを使いましょう。



たら、口に丸じるしを入れましょう。



コンパス、彫刻刀は必要



## 家庭学習の手引き (12年用)

早島町立早島小学校

### べんきょうをはじめるまえに

- べんきょうするときには、テレビをけしましょう。
- つくえの上をかたづけましょう。
- 学校からのプリントなどをおうちの<sup>ひと</sup>に出しましょう。
- 正しいしせい<sup>し</sup>でべんきょうしましょう。



### べんきょうじかんとす

- 1,2年生のべんきょうじか<sup>ん</sup>は、20分
- しゆく<sup>だい</sup>・どく<sup>しよ</sup>をまい<sup>日</sup>き

### しゆく<sup>だい</sup>・どく<sup>しよ</sup>に

- しゆく<sup>だい</sup>は、15分くらいがめや
- どく<sup>しよ</sup>は5~10分くらいがめや
- わからないところは、おうちの<sup>ひと</sup>や
- どく<sup>しよ</sup>の本は、本の森やおうちに本などをよみましょう。



## 早島っ子の学習

平成22年4月~

① 筆箱の中身をきちんとそろえる。

② 授業の始まりを守る。

③ 背筋を伸ばして座る。

④ 話を最後まで聞く。

⑤ ノートのきまりを守って使う

⑥ 名前を呼ばれたらはっきり

「はい」と返事をする。

⑦ 「です」をつけて発表する。

⑧ 一番遠くの人に聞こえる声で発表する。

⑨ 次の時間を準備してから休けいする。

⑩ 席をはなれるときはいすを入れる。



# 挙手について

「学びの共同体」でよく“しっとりした授業”と言われるますが、教師が声のトーンを抑えることに一生懸命にならなくても、教室全体に聴き合う関係ができれば自然と“しっとり”としてくるものだと思います。（秋田喜代美先生が言われていました）

その対極にあるのが“ハイハイ授業”です。参観授業や研究授業などでは、元気よく手を挙げる子どもの姿を求めがちですが、「ハイハイ」と言っている時は、子どもの思考は停止しています。発問のレベルが易すぎるため、子どもは深く考えず、自分の意見を言うことにだけ固執し、他者の発言を聞こうとしません。

難しい課題に対してしっかり考える子どもを育てるためにも、教師は安易な発問はせず、沈黙に耐える強い心を持ちましょう。

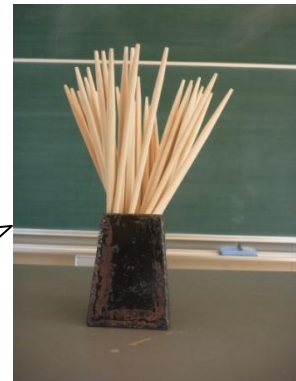
挙手一指名で授業を進める場合、手を挙げていない子への配慮をしっかりと考えなければなりません。手を挙げて発表する子だけで授業が進んでしまうと、わからない子を取り残され、授業全体が受け身で消極的になってしまいます。

ひとつの方法として、出席番号を書いたくじがあります。ただし注意しなければならないのは、

- ・既習内容で全員が理解していなければならない発問に限る。
- ・指名された子は、友だちと相談してもよい。

等です。

ある程度の緊張感が保てますが、子どもにとって負担にならないことが大切です。



また、授業の挙手では、ハンドサインを使わないでください。“大人がしないことを子どもに押し付けない”が原則です。「はじめに子どもありき」の視点を忘れず、教師の都合だけの取り組みは慎みましょう。



# 授業研究

## ○ 授業公開

- ・ 授業公開に当たっては、事前にあまりエネルギーを注がない。事後の反省会を充実させる。
- ・ 学年の教員は原則全員が参加する。他学年の教員も都合がつけば参加して良い。
- ・ 教科は自由。
  - “聴き合い・学び合い” の場面がある授業を。
- ・ 公開するときは、できるだけ1週間前までには、コラボノート上で全体に知らせる。
- ・ 指導案は作るが、簡略でよい。
  - A4サイズ一枚。
  - 本時案は簡略でよいが、授業者の思いと見てもらいたい視点をしっかりと書く。
  - 事前に、校長、教頭、教務、研究主任と学年団の教員に座席表を付けて配布する。
  - コラボノート上に添付し、他学年で参観できる教員は、それをコピーする。
- ・ 授業を録画する場合は、教室斜め前から撮影する。  
(子どもの表情がわかるように)
- ・ 参観者は児童の表情が見える場所で。⇒P55
- ・ 参観者も授業に参加してよい。

## ○ 反省会

- ・ 反省会の司会は学年主任が行い、記録は授業者が行う。
- ・ 反省の視点は「すべての子どもが学びに参加していたかどうか」
- ・ 反省会は、当日放課後に授業を行った教室で行う。
  - 観察した教室の事実に基づいて、どこで子どもの学びが深まり、どこでつまずいたのかを話題にする。
  - 授業を見て、そこから自分自身が学んだことを話題にする。
- ・ 授業後、授業者は反省会の内容と感想を付けたものを、A4一枚にまとめ、コラボノートに添付する。  
(なるべく授業後2, 3日以内に)

第6学年4組 理科 学習指導  
平成22年9月28日(火) 2時

- 1 単元名 生き物のくらしとかんきょう
- 2 単元と授業者の思い  
本単元では、生き物と空気、食べ物、水とのかかわり生活経験などを想起しながら、生き物はたがいにかかわることを目標としている。  
本時でねらう対話のポイントは以下のとおりである。  
対象との対話・・・動物の生態や習性などとそれ出会うように促す。  
他者との対話・・・それぞれの既知(生活経験)をそれらをつなぎ合わせていく(こ知)に気付くように促す。  
自己との対話・・・授業の最後に振り返りを書くいてメタ認知できるようにする
- 3 児童と授業者の思い  
6年4組の児童は明るく開放的で、いつも和やかなる。ただ、数名の児童が思いついたことを何でも口あり、そのことを不快に思っている児童もいると思われみんなが充実感を味わうことができるようにコーディネーター自身の課題である。

### 4 本時案(第1次 第3時)

ねらい	「食べる」「食べられる」という関係をもえることができる。
学習活動	支
1 タンゴムシの習性を知る。	○ 先日採集したダンゴムシに、習性を知らせる。
	生き物どうしの「食べる」「食べられる」
2 動物の食べ物を矢印でたどっていく。	○ 教科書の図に矢印を貼る。
3 個体数について考える。	○ 個体数を面積で表す。 ○ 個体数のバランスが ○ 外来種や人間が生態
4 振り返り	○ 本時での気付いたこと

第6学年2組 理科 2  
平成23年1月26日

### 【反省会の内容】

- あたたかい雰囲気の中で授業ができていた。
- 演習実験にみんな興味を持っていた。
- 学力の低い子が救われる授業になっていた。
- 班の中で相談しながら実験できていた。
- 教材(手回し発電機)をみんな楽しんでた。
- 話し合いの力を鍛えようとする授業者の思いが伝わった。
- 話し合いの時間を決めて、守ることが大切。
- 意見が出なかった時に、新しい(ジャンプの)問題を出した。
- マインドマップの板書はよかった。メモ書き感
- 以前は発言の少ない子たちが、しっかり発表できた。
- ▲ 司会の児童が緊張していた。
- ▲ 「同じ意見でもいいよ」は、高学年では発表す
- ▲ ワークシートを活用した方がよかったのでは。
- ▲ 指示を最小限にして、子どもの気付きに任せて
- ▲ 直列つなぎとか実験させてもよかったのでは。

### 授業者の学び

- ・ 今回は新しい単元だったので、いざ授業をしようというイメージしていた授業ができず残念だった。ま

# 授業評価シート

授業研究だけでなく、子どもの声も謙虚に受け止め、授業改善に努めましょう。

夏休み前か学期末がいいと思います。文面や内容は子どもの実態に合わせて変更してください。

番号	質問事項	評価			
		A	B	C	D
1	先生は、授業のはじめに学習のねらいや目標を説明していますか。				
2	先生は、授業内容がよく分かるようにいろいろな工夫をして教えていますか。				
3	先生は、授業で習った内容の復習や確認をする時間をとってくれていますか。				
4	先生の声の大きさは適切で、聞き取りやすいですか。				
5	先生は、質問にいてねいに答えてくれたり、学習へのアドバイスをしてくれたりしますか。				
6	先生は、生徒の意見や疑問、新しい発想を大切にしてくれますか。				
7	先生は、考えたり、作業をしたり、発表したりする時間を十分確保してくれますか。				
8	先生は、授業中にほめてくれたり、励ましてくれたりしますか。				
9	授業の進度(速さ)は適当ですか。				
10	授業では、説明を聞く時間、自分で考える時間、意見を発表する時間、板書を写す時間などきちんと区別されていますか。				
11	授業の中で、分かるようになった、できるようになったという達成感がありますか。				
12	教室は、学習環境として整備されていますか。				

A：よくできている B：だいたいできている C：あまりできていない D：まったくできていない

感想	
----	--



# マインドマップ

マインドマップとは、中央にイメージ（イラスト・キーワードなど）を描き、そこから四方八方にツリーを広げ、中央のイメージに関連・連想される言葉やイラストを描いていくものです。

キーワードやイメージのみで構成する記述法なので慣れれば普通にノートするより遥かに早く、かつ多くの情報を記述することが可能です。

中央とその周辺にツリーに重要な事項を書くスタイルなので、可視性・可読性に優れており、ノートを読み返す場合に記述した内容を理解する時間がかなり少なくて済む利点があります。

マインドマップには細かい決まりがありますが、従来のイメージマップでかまいません。低学年から、モジュールタイムなどで手法を身に付けさせ、板書やワークシート、ノートに活用していきましょう。

ワークシート 道徳ドキュメント ●

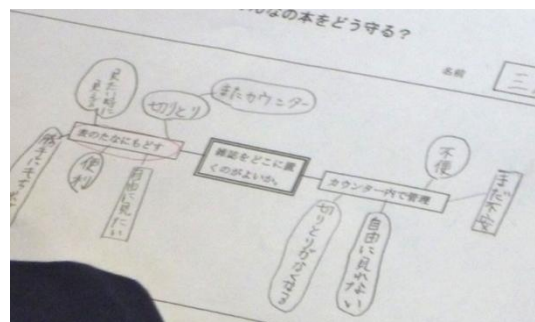

氏名 ( )

○松岡さんの立場になって思いをめぐらせてみましょう。（「心の地図」をつくる）

協力する — 「サルの経験に協力してほしい」 — 協力しない

○きみならどうする？

○今日の授業で考えたこと



# 司会力、対話力

子どもが司会をすると、子ども同士の対話が成立しやすい環境になります。また、司会力も身に付いてきます。学級活動や道徳の授業をはじめ、いろいろな場面で実践してください。

## 司会力を身につけよう

### 1 話題をたしかめよう。

- ・これから〇〇のことについて話し合いをはじめます。

### 2 時間を考えよう。

- ・話し合いの時間は、〇分間です。

### 3 多くの意見を出し合おう。

- ・どんな意見があるか、教えてください。

引き出す

- ・～さんと同じ（似た）意見の人はいませんか。
- ・～さんの意見に付けたしの人いませんか。
- ・今の意見に意見や質問はありませんか。
- ・～さんの意見を聞かせてください。

広げる

- ・～さんとちがう意見の人はいませんか。
- ・ほかに意見はありませんか。
- ・広く意見を聞きたいので、みんなの意見を聞かせてください。
- ・なぜそう考えたのですか。もう少し詳しく教えてください。

### 4 意見を整理・分類しよう。

くく  
ら  
べ  
る

- ～さんと～さんの意見は似ているので、ひとつにまとめていいですか。
- ◎～さんと～さんの意見は、～のところが似ているので、ひとつにまとめて～という意見にしていいいですか。
- 今は～について話し合っているので、後でもう一度出してください。
- ◎～さんの言っていることは、（つまり）～ということですね

### 5 意見をまとめよう。

- ・時間になったので、みんなの意見をまとめます。

た  
し  
か  
め  
る

- ・似ている意見をまとめましょう。どの意見が似ていますか。
- ・～さんと～さんの意見は似ているので、いっしょにしてもいいですか。
- ・どの意見が一番いいですか。そのわけも教えてください。
- ・友だちの意見を聞いて、考えの変わった人はいませんか。
- ・それでは、～ということに決めていいですか。

# 朝の読書

「言葉をめぐる環境の充実」として、読書を積極的に推進しています。以下の共通理解のもと、子どもへの声かけをお願いします。

## 1 ねらい

毎日続けることにより読書が好きになり、読む力と豊かな心を育み、落ち着いた気持ちで授業が始められるようにする。

## 2 実施方法

### ① みんなでやる（※1）

→ 児童と教師が同じ時間に同じ条件で取り組む公平さが基本。

### ② 毎日やる（※2）

→ 1日10分という短い時間でも、毎日行うことで児童の読む力を育む。

### ③ 好きな本でよい（※3）

→ 読む本を子ども自身に選ばせることは自分発見につながり主体性を育む。  
ただし、図書室の本に限る。

### ④ ただ読むだけ

→ 感想文や記録は求めない。本を読んでいるときの楽しく充実した思いを大切にする。

## 3 その他

- ・ 全校が静まり返る時間です。10分間は、立ち歩かない、しゃべらないように指導してください。
- ・ 本の森（図書室）の貸し出し数を通知表に記入します。児童のやる気につながるよう声かけをお願いします。
- ・ 高学年は図書の時間がないので、計画的に本の森へ行くように指導してください。
- ・

※1 担任の先生は、宿題チェックなどいろいろとあると思いますので、読書は努力目標として意識してください。教室には必ずいてください。

※2 月曜は放送朝礼等があるため朝の読書はありません。できるときがあれば取り組ませてください。

※3 22年度より、読む本は本の森から借りたものに限定することになりました。置きたい本があれば、司書の先生と相談してください。





# 名文・古文の暗唱

中学生以上になると、勉強の基準が「テストに出るかどうか」になります。頭の柔らかい小学生のうちに、名文古文にしっかりふれさせ、できるかぎり暗唱させましょう。意味を理解するよりも、語感を味わうことが大切です。ごほうび券などを活用して、覚えた子をしっかりほめてやってください。保護者の方も大変喜ばれます。

また、都道府県や部首、地図記号の暗記も合わせてお願いします。

	H22度取り組み	H23国語教科書	H23度取り組み(案)
1年		昔話がいっぱい	(昔話読み聞かせ)
2年		いなばの白うさぎ いろはかるた 春の七草	いろはうた 春・秋の七草
3年		俳句 百人一首	俳句(蕪村・芭蕉・一茶) 百人一首かるた遊び
4年	寿限無 百人一首 俳句	俳句・短歌 故事成語	俳句(子規・虚子) 短歌(啄木)
5年	百人一首(100首) (国旗、魚、東海道新幹線)	竹取物語 枕草子 平家物語 論語	竹取物語 百人一首 平家物語
6年	奥の細道 平家物語 雨二モ負ケズ 石川啄木 (歴代総理大臣)	福沢諭吉「天地の文」 季節の言葉 狂言 落語	福沢諭吉 季節の言葉 論語 枕草子



# モジュールタイム

金曜1校時をモジュールタイムと設定し、全校で取り組んでいます。45分を15分3コマに区切って行います。内容は、授業では時間を確保しづらい補足的・発展的な学習をしてください。

県の学習到達度確認テスト、語彙プリント、暗唱、百人一首、フラッシュ教材など学年で内容を統一してください。

23年度から始まる「朝モジュール」のねらいは、「調べる・まとめる・発表する」力の育成です。（金曜モジュールとはねらいが異なります）学年の実態に合わせて、音読・ローマ字・1分間スピーチ・キーボード入力、要約、意見文、インターネット検索等を行ってください。また、「脳ドリル」をこの時間に行なっていただいてもかまいません。授業が始まる前の活動なので、子どもにとっても負担にならず楽しみながら取り組める内容にしてください。

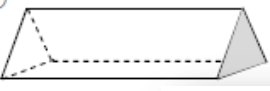


『学習到達度確認テスト』には、算数の「単元別確認テスト」以外に「読解力テスト」があります。こちらも取り組んでみてください。


**小学校第6学年 単元別確認テスト①**

単元名 [立体（啓林館）] [直方体と立方体（東京書籍）] [いろいろな立体]

6年（ ）組（ ）番 名前（ ）

○ ㉗～㉜の立体を見て、次の問いに答えましょう。

㉗  ㉘  ㉙ 

㉚ 

① ㉗～㉜の中から、

② ㉗～㉜の中から、

**小学校第6学年読解力テスト（理科4）**

こうたさんは、理科の学習で、ムラサキキャベツのしるを使って水よう液の性質（酸性・中性・アルカリ性）が調べられることを知りました。そこで、5つの水よう液を使って、ムラサキキャベツのしるの色がどのように変化するかをグループで調べました。その後、身近な水よう液や果物のしるについても調べました。

<調べる水よう液とその性質>

	水よう液	リトマス紙の変化	性質
㉗	こい塩酸	青→赤	酸性
㉘	うすい塩酸	青→赤	酸性
㉙	食塩水	変化しない	中性
㉚	うすいアンモニア水	赤→青	アルカリ性
㉛	こいアンモニア水	赤→青	アルカリ性

※学習到達度確認テストシステム

<https://manabu.pref.okayama.jp/cgi-bin/totatsu/root/index.cgi?>

（岡山県教育庁指導課）

学習到達度確認テストシステム

ID

PASS

# 早島っ子アンケート

21年度から児童の生活調査をしています。夏休み前に実施します。

## はやしま こ 早島っ子アンケート

( )年 ( )組

このアンケートはみなさんの生活のようすを知るためのものです。あてはまるものに○やことばを書いてください。

### 1 すいみんについて

- (1) 夜は何時ごろねますか。(学校のある日)
- ① 8時前 ② 8～9時 ③ 9～10時 ④ 10～11時 ⑤ 11時よりおそい
- (2) 朝は何時ごろ起きますか。
- ① 5～6時 ② 6～7時 ③ 7時よりおそい
- (3) 自分で起きることができますか。
- ① 起きる ② ときどき起こしてもらう ③ いつも起こしてもらう



### 2 食事について

- (1) 朝ごはんを食べていますか。
- ① 毎日食べる ② ときどき食べない ③ ほとんど食べない
- 食べない理由 ( )
- (2) 朝ごはんをだれと食べますか。
- ① 家族と食べる ② ひとりで食べる ③ きょうだいと食べる



### 3 家庭学習について

- (1) 1日にどのくらいの時間、勉強をしますか。
- ① ほとんどしない ② 30分まで ③ 1時間まで ④ 1時間より多い
- (2) 1日にどのくらいの時間、読書をしますか。
- ① ほとんどしない ② 30分まで ③ 1時間まで ④ 1時間より多い



### 4 あそびについて

- (1) 学校のある日、テレビやビデオをどのくらい見ますか。
- ① ほとんど見ない ② 1時間まで ③ 2時間まで ④ 2時間より多い
- (2) 学校のある日、ゲームをどのくらいしますか。
- ① ほとんどしない ② 1時間まで ③ 2時間まで ④ 2時間より多い
- (3) 家でインターネットやメールをしていますか。
- ① はい ② いいえ
- (4) 自分のけいたい電話をもっていますか。
- ① はい ② いいえ



### 5 あいさつについて

- (1) 1日にどのくらいあいさつをしていますか。(毎日しているものすべてに○をつけてください)
- ① 朝起きて、家族に ② 登下校中に、地域の人に ③ 学校で、友だちに
- ④ 学校で、先生に ⑤ ねる前に、家族に

# セキュリティポリシー

情報漏洩の危険に対応するため、本ポリシーは、数か月ごと及び緊急の課題発生都度、再検討する。

## 1 個人所有のパソコンやUSBメモリの使用について

### 1-1 パソコンの持ち込みと、使用上の注意

- 持ち込みは事前申請が必要です。
- 学校の LAN への接続は禁止。
- 有効期限の切れていないウイルス対策ソフトが入っていること(学校でインストールしたウイルスバスターは消去し、自費で購入してください)。
- 対策ソフトは、情報委員が指定したものであること。それ以外のソフトは要相談。
- 自宅でインターネットへ接続するなどし、最深の定義ファイルを受信していること。
- ファイル共有ソフトが入っているパソコンは不可。
- 持ち込んだパソコンのセキュリティが緩くならないよう、席を離れる場合はパスワードロックするなどの注意を自己責任で行ってください。

### 1-2 校外へ個人情報データを持ち出すための電子媒体について

- USB メモリは『AES』という方式で暗号化できるものを購入し、データは暗号化領域へ保存すること。それ以外の暗号化方式については、情報委員に相談してください。
- CD-R など、USB メモリ以外の電子媒体で個人情報を持ち出す場合は、管理者の許可が必要です。
- 業務関係のデータを入れた電子媒体は、情報漏洩やウイルス混入の危険を防ぐため、友人やカメラ屋へデータを渡すなど個人的な用途に使わないこと。

### 1-3 持ち出し時の注意

- 日本ネットワークセキュリティ協会による調査では、2008 年の教育関係漏洩事件のうち 4 割が USB メモリという結果でした。パソコンや USB メモリを車内に放置したまま車を長時間離れたり、持ち歩き中に紛失しないよう、十分注意してください。
- 授業素材と成績以外のデータを持ち帰りたい場合は、管理職の許可が必要です。また成績は、万一内部を見られても早島小学校の誰であるか特定されないよう、「早島」の言葉を消したり、生徒名はフルネームではなく苗字だけ記入する等の配慮をしてください。



## 2 教員用ノートパソコンについて

### 2-1 校外への持ち出しについて

- 許可なく校外へ持ち出すことは禁止(自宅含む)。
- 校外で業務上のプレゼンに利用するなどの場合は、管理職の許可を得てください。
- 情報漏洩及び盗難に注意すること。

### 2-2 使用について

- 職員室では、盗難防止ワイヤーをつける。
- 席を離れる場合、テストや個人情報編集中の画面を出しっ放しにしないこと。
- 長時間離席の場合、ノートパソコンはフタを閉める。
- 教室へ持ち出す場合は、注意して管理すること。

### 2-3 設定に関して

- パソコン起動時にはパスワード入力が必要な設定にする。
- ノートパソコンは、フタを閉めるとスリープする設定にする。
- 10分以内にスクリーンセイバーになり、スリープやスクリーンセイバー解除時にはパスワード要求する設定にする。

### 2-4 ソフトやデータについて

- 児童の住所データは、パソコンや電子媒体で持ち帰らないこと。
- 上記以外のデータは基本的にサーバへ保存してください。ただし、個人情報に関係なく、他の教員と共有する必要もない重要度の低いデータは、各自の配布パソコン内へ保存(サーバ保存量が有限であること)。  
特に画像や映像はデータ量が大きいため、行事などを撮影した写真は、ある程度選別してサーバへ入れてください。
- ソフトは、許可リストにあるもののみインストール OK です。それ以外については情報委員へ必ず相談し、了承を得てからインストールしてください。

## 3 自宅で(業務に)使用するパソコンについて

### 3-1 設定やソフトについて

- 情報担当で選定したウィルス対策ソフトが入っており、定義ファイルが更新されていること。
- ファイアウォール機能を ON にしていること。
- Winny 等のファイル共有ソフトはインストールしないこと。

### 3-2 管理について

自分の知らない間に家族がファイル共有ソフトをインストールして情報漏洩する事件が多く発生しています。同様の状況にならないよう、注意してください。

# 書画カメラ、プロジェクタ

ICT機器の導入にともない、ムリ・ムダ・ムラの無い活用を実践しています。ICT活用の基本は教科書をプロジェクタで映すことです。スクリーンにマーカーで書き込み、それを見て子どもは教科書に書き込みます。教師は“教科書の行間”を読み取り、子どもは“教科書をマイブックに”作りあげる授業にしましょう。

## 【確認事項】

- ・ 模造紙、カラーコピーを使っの板書は、なるべく控えてください。
- ・ 映像がスクリーンからはみ出さないようにしてください。
- ・ スクリーンに影が映り込まないように、指示棒を活用してください。
- ・ パワーポイントやフラッシュ教材は、子どもにとっては形として残らないものです。効果が期待できるときのみ活用してください。



## 【書画カメラ】

- ・ SDカードがセットされています。教科書や子どものノート等を記録する時に活用してください。
- ・ リモコンを使うことで、ハイライトやマスクの機能など一歩進んだ映し方が可能になります。



## 【プロジェクタ】

- ・ 連続使用を避けるため、業間や昼休みは電源を切ってください。
- ・ 時々フィルタの掃除をしてください。
- ・ 内部温度の上昇を防ぐため、吸気口、排気口の近くに何も置かないでください。
- ・ 放課後は、必ずカート（保管庫）に収納してください。

# デジタルカメラ

21年度にデジタルカメラを20台購入しました。日々の子どものようすを記録してください。また、授業の中で子ども達にも積極的に活用させてください。



## 《確認事項》

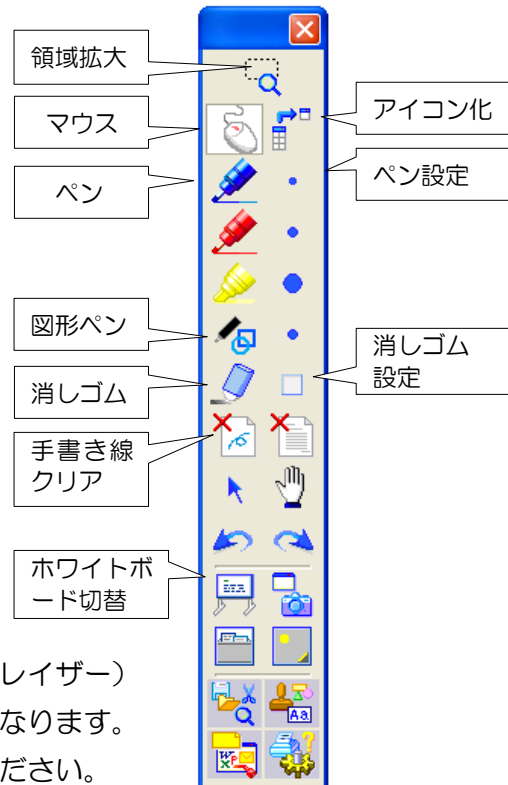
- 持ち出すときは、必ずプレートに日付と名前を記入してください。
- iA “インテリジェンス・オート(カメラにおまかせ)”での撮影をお勧めします。ダイヤルを確認してください。
- 動画を撮影するときは、設定を確認してください。  
ハイビジョンテレビで再生する場合  
⇒【AVCHD Lite】  
パソコンなどで再生する場合  
⇒【MOTION JPEG】
- 返却するときは、画像を消去し、バッテリーを抜いて充電してください。
- 22年度は、ほとんどのデジカメが常時出払っている状況でした。使用後は速やかに返却してください。
- 記録した画像は容量が大きいため、行事等共有の必要性があるもののみ“Teachers”に保存してください。学級や個人的なものは、個人PCの“マイドキュメント”に保存してください。
- デジタルビデオカメラ、ワイヤレスマウス等の貸し出し・返却も同じ扱いです。



# 電子黒板

理科室には電子黒板があります。今後IWB（インタラクティブ・ホワイト・ボード）として、いろいろな形で普及されると思いますので、理科の授業でぜひ活用してください。

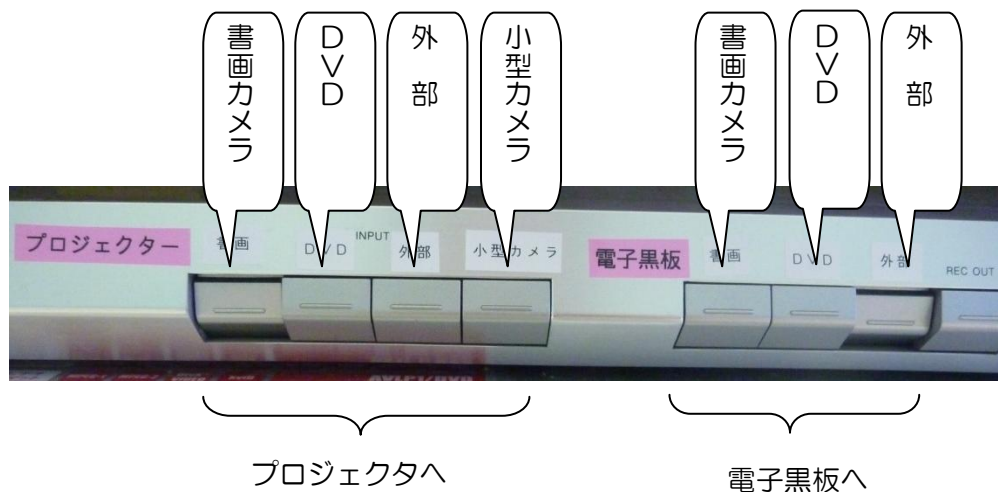
また休み時間には、対戦型学習ゲームなどのショートカットをデスクトップに貼りつけていますので、子どもたちに自由にさせてやってください。



- ※ 最初に「PenPlus プロ」を起動してください。  
（画面上でのマウス操作だけなら、起動する必要はありません。）
- ※ 画面上を手のひら（またはホワイトボード用イレイザー）で軽く触れるだけで、自動的に消しゴム機能になります。
- ※ 授業が終わったら、電子黒板の電源を切ってください。

## ○ 理科室のICT環境

教卓の下にAVセクターがありますので、こちらで操作してください。



# PISA型読解力

2000年から始まった国際的な学力調査「OECD生徒の学習到達度調査（PISA）」で日本の子どもは国際社会で求められる「読解力」が不足しているという結果が浮き彫りになりました。全国学力テストのB問題や岡山県の学習到達度確認テストなどはこれに対応した問題になっています。授業の中で少し意識して取り組んでみましょう。

## 1 情報の取り出し

いつ? どこで? だれが?

与えられた文章や図式、グラフなどの情報から、内容を解釈するために必要な情報をとり出します。例えば物語であれば、「登場人物」や「場面の様子」「会話」などを取り出し、場面の状況を読み取る材料とします。

## 2 解釈

足が速いウサギだって、油断すると負けちゃうんだね・・・

1で取り出した情報が、どういう意味をもつのかを考えます。例えば物語であれば、取り出した情報から「登場人物はこういう状況に置かれ、こんな気持ちでいるのだ」などと内容を意味づけしていきます。

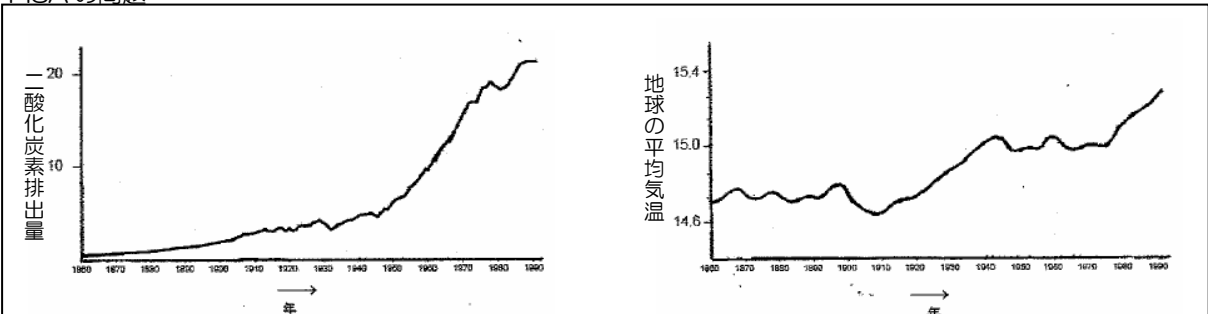
## 3 熟考・評価

ほく、カメはすごいと思う。  
どうしてかっていうとね～。

2の解釈をもとに、その問題に対して自分はどうか考えるのか、どう評価するのかを述べます。例えば、自分が物語の主人公ならどのように行動するのかを考え意見を述べます。このとき、根拠をもって論理的に意見を述べるのが大切です。

(「家庭で楽しく!子どもの読解力がぐんぐん伸びる本」ベネッセコーポレーションより引用)

PISAの問題



太郎さんは、この二つのグラフから、地球の平均気温が上昇したのは二酸化炭素排出量が増加したためであるという結論を出しました。

【問題】

花子さんという別の生徒は、太郎さんの結論に反対しています。グラフの中で太郎さんの結論に反する部分を一つ示し、それについて説明しなさい。

# 言葉の力

## 1 言葉の力とは？

理解力や表現力、思考力を育て、よりよい人間関係を築くために、言葉の力とは、次の3つと定義します。

- (1) 言葉を読み取る力
- (2) 言葉を活用する力
- (3) 言葉でつなぐ力

言葉の力は、全ての教育活動や生活を通じて、意識的に育てていくことが大切です。

## 2 言葉の力がつくと？

(1) 言葉を読み取る力



・豊かな語彙力をもち、文脈に応じて使いこなします。  
・文章構成や論理展開を踏まえて、内容を理解します。  
・文章や式、グラフ等の多様な資料を活用し読み取った情報を基に考えます。

(2) 言葉を活用する力



・各教科における用語を使って、概念や考えを説明します。  
・目的や意図、条件などに応じて、自分の考えを表現します。  
・様々な資料を活用して、自分の考えを表現したり、意見交換したりします。

(3) 言葉でつなぐ力



・言葉を使って自己表現や他者理解をし、視野を広め、豊かな人間関係を築きます。  
・意見の違う人と積極的に議論して、協同的に問題解決します。

## 3 5つの目標 ～言葉の力を豊かに育成するために～

これらの言葉の力を育成するためには、「言葉の知識」を増やすとともに、「教養、価値観、感性」等を豊かに育てることを前提として、次の5つの目標を実現する学習指導を推進することが大切です。

- (1) 語彙を豊かにし、的確に使いこなす力を育てる。
- (2) 理解・評価しながら、聴いたり読んだりする力を育てる。
- (3) 目的や状況に応じて、考えを筋道立てて話したり書いたりする力を育てる。
- (4) 互いに尊重し合いながら、交流する力を育てる。
- (5) 本や新聞など多様なテキストに親しませ、考え方や感じ方を豊かにする。

## 4 具体的にどんな指導をすればいいの？

### (1) 語彙を豊かにし、的確に使いこなす力を育てる。

- 【例】
- ・ 読書や遊びを通して、語彙を充実させる。
  - ・ 各教科で学習する語彙を整理し、まとめや話し合いに取り入れる。
  - ・ 学習や生活の様々な場面で、辞書を活用させる。

### (2) 理解・評価しながら、聞いたり読んだりする力を育てる。

- 【例】
- ・ 式、グラフ、地図、文章等の情報の意味を考え、説明させる。
  - ・ 様々な具体的な事象から抽象的な概念を導きだしたり、具体事象に当てはめて説明したりさせる。
  - ・ 「事実と意見の区別」「判断と根拠」「原因と結果」「比較や対照」という観点から、聞いたり読んだりさせる。

### (3) 目的や状況に応じて、考えを筋道を立てて話したり書いたりする力を育てる。

- 【例】
- ・ 学習の様々な場面で、自分なりの意見を書く活動を取り入れる。
  - ・ 記録文、生活文、レポートなどを書く機会を、多様に設定する。
  - ・ 必要な資料等を使いながら客観的に論証する活動を取り入れる。
  - ・ 事実と考えを書き分けることや、書いたものを分析することなどを通じて、自分の考えを吟味させる。

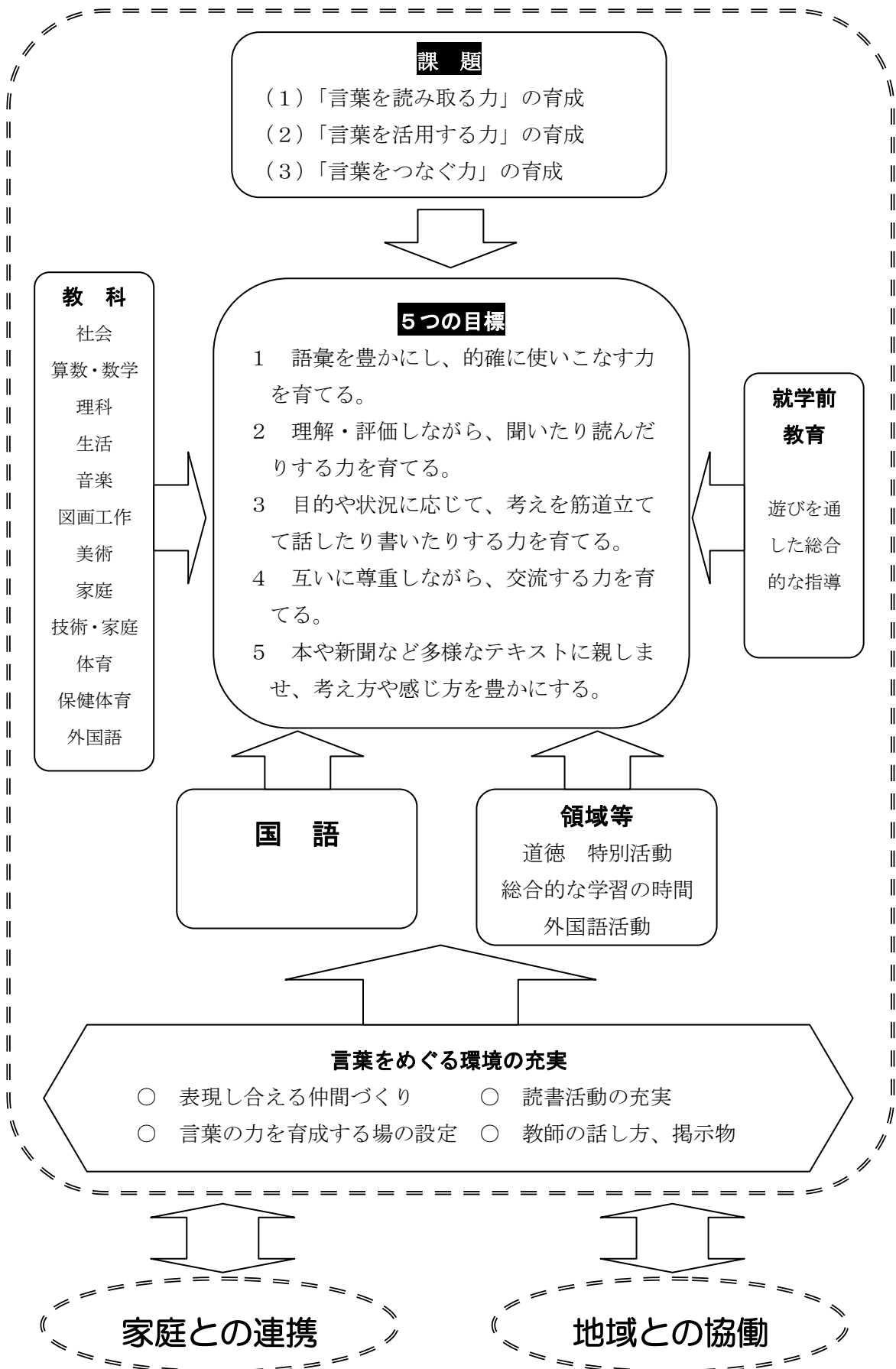
### (4) 互いに尊重し合いながら、交流する力を育てる。

- 【例】
- ・ 「聞く力」を育てる指導を重視する。
  - ・ ペアや小グループ、学級内での話し合いをする。
  - ・ 意見の違う人と積極的に議論して、協同的に問題解決をする態度や、意見の対立が生じたとき、その対立を乗り越えてもんだ解決をする方法を身に付けさせる。

### (5) 本や新聞など多様なテキストに親しませ、考え方や感じ方を豊かにする。

- 【例】
- ・ 読み聞かせなど、読書に親しみを感じる工夫をする。
  - ・ 朝の読書、日常生活での読書など、幅広く継続的な取組を行う。
  - ・ 1冊の本を読み合って話し合ったり、複数の本を比較しながら読むなど、多様な読書経験ができるようにする。
  - ・ 新聞等を読んで自分の意見を話したり書いたりする。

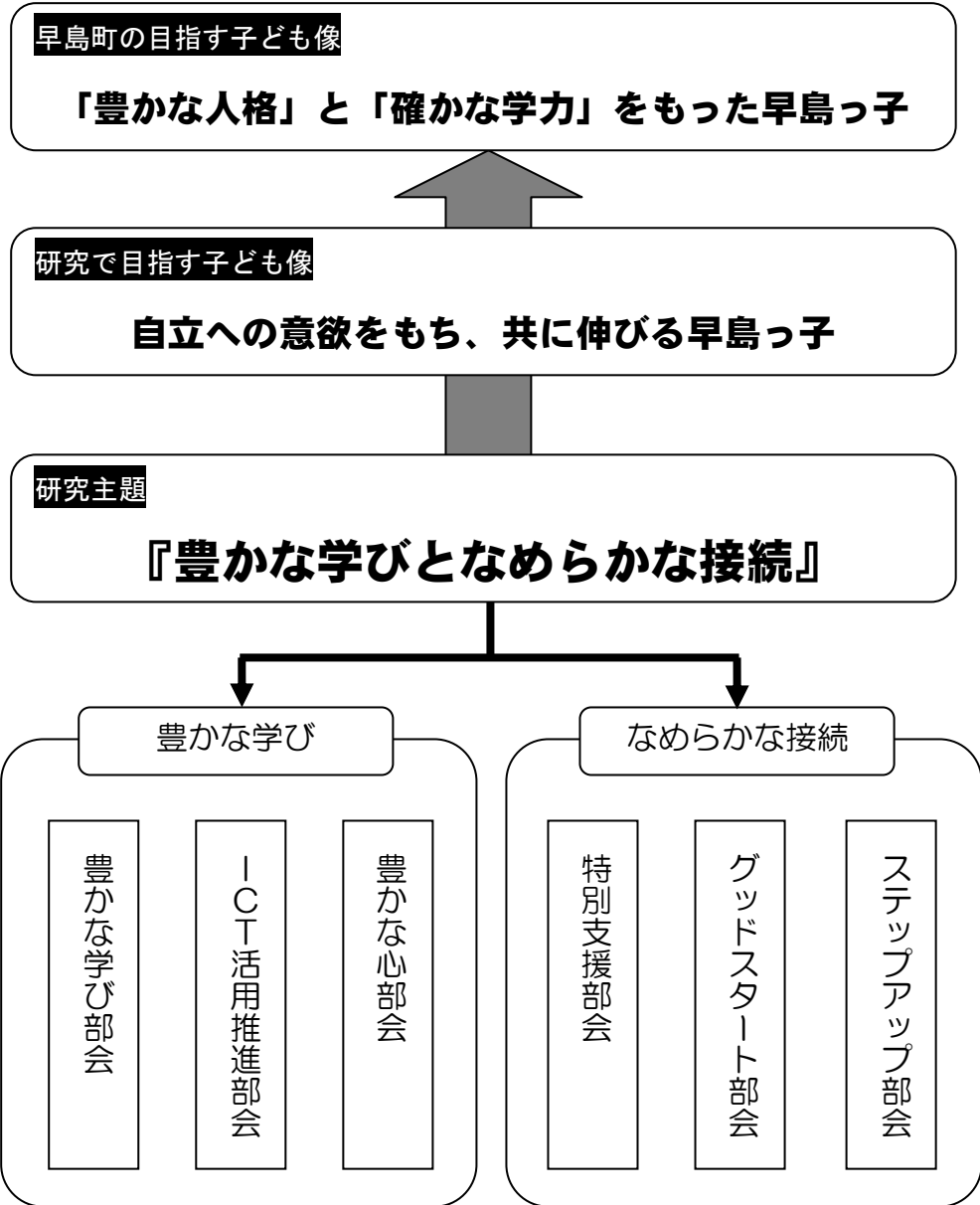
## 5 言葉の力育成のための学校における取組（全体像）





# 早島町教育研究会

早島町では、幼小中一貫教育を具現化するため、以下の取り組みをしています。



- 授業公開・・・年6回（各校園2回ずつ）
- 町教研の日・・・年4回（授業公開のない月）→6つの部会に分かれて。
- 合同研修会・・・夏季休業中
- 教員一日体験・・・グッドスタート、ステップアップ部会の取り組みとして。
- 研究のまとめ・・・部会、個人で作成。

（なるべく数値化した客観的なデータを添えて考察する）